

一学年だより

No. 4

令和 8年 5月 21日
太宰府市立太宰府西中学校
文 責 : 江崎 彰泰

さあ、中間考査

～ みんなで「最高到達点」を目指す！ ～

体育会が終わり、中学生になって最初の中間考査が行われます。さて、みなさん、中間考査に向けて「がんばる」準備はできていますか？「テスト前は、平均2～3時間勉強しましょう。」と言われて、みなさんは3時間の勉強ができますか？今まで、毎日1～2時間の家庭学習がきちんと継続できている人なら、きっと3時間集中してできると思います。でも、日頃ほとんど家庭学習をしていない人が、いきなり「3時間集中してがんばるぞ」なんて言っても、とうていムリな話です。



野球に例えると、日頃から素振りもせず、バッティングの練習をおろそかにしている人には、いきなりホームランは打てないということです。毎日、一生懸命素振りを続けている人だけが、ヒットを打て、いずれホームランを打てるようになるのです。

そこで、今日から「がんばる」準備を始めましょう。まず、今日から毎日きちんと机に向かい、最低でも2時間は粘るのです。リビングでテレビを見ながらではなく、音楽を聴きながらではなく、スマホを触りながらではなく、きちんと机に向かう。

そして、体育会と同じように「最高到達点～仲間との想いを繋ぎ、共に旋風を巻き起こせ～」のスローガンで中間考査に挑みましょう。友だちに自分の努力を伝えてください。友だちから、昨日どれだけ努力したのか聞いてください。お互いに勉強のやり方や集中できる方法などを教え合ってください。ものすごく努力しているのに「たいして勉強してない」などと、間違っても口にしてはいけません。一生懸命努力する人がかっこいいのです。一生懸命努力し合う仲間が「素敵な仲間」であり、伸びていくのです。

1年生最初の定期考査はとても大切です。中学校3年間のスタート地点を決めるテストだと思ってください。みなさんが自分なりのよいスタートを切ることを願っています。

今から、テスト範囲が配られ、テスト勉強の計画を立てます。「これだけの内容は絶対やるんだ」という決意を、計画表に書き込みましょう。

テスト勉強に向けて、大切なことをまとめてみました。参考にしてください。

○5教科それぞれの目標点数を決める。

○目標点数をとるためには、どのくらいの努力が必要なのか考え、勉強の計画を立てる。

「いつ勉強するか」「何を勉強するか」「どれだけ勉強するか」

○ワークなどの提出物をていねいに仕上げる。(答合わせ、やり直しを確実に)

○間違えた問題は、できるようになるまで考える。

○わからない問題は、まず自分で教科書やノートを調べる。

○調べても分からないときは、「先生」や「友だち」に質問する。

○暗記するときは、「目」(見る)と「手」(書く)と「口」(声に出す)を同時に使う。

○「努力」＝「時間」×「集中力」



★**中間考査に向けていったい何を、どのように勉強したらよいのだろうか…?**

何を勉強するのか

- ① 毎日の授業で自分が「理解していないところ」
- ② 毎日の授業で「覚えなければならないところ」



どう勉強するのか

- ① 「理解していないところ」を「理解できる」ように勉強する必要がある。
→自分で教科書やノートを調べる。
→調べても分からないときは、「先生」や「友だち」に質問する。
- ② 「覚えなければならないところ」を「覚える」ように勉強する必要がある。
→覚えるときは、「目」(見る)と「手」(書く)と「口」(声に出す)を同時に使う。

★**「あなたが理解していないところ」「覚えなければならないところ」はどこですか？**

それらを、どうやって発見しますか？

「テスト範囲」を知り「それぞれの教科の自分の弱点」を知ることから始める。

- ① テスト範囲の教科書を声に出して読む
 - ・読みながら、読めない文字、意味不明の語句、初めて見るような公式や問題をチェックする。
- ② 授業中にとったノートを読み直す
 - ・重要と思える記述、意味不明な記述はチェックする。
 - ・休んだりして欠落している部分は友達に見せてもらう。
- ③ 授業で使ったプリントやワークをチェックする
 - ・プリントは全部そろっているか。なければ…。
 - ・できる問題はどれか、できない問題はどれかをチェックする。
 - ・重要語句や意味不明の語句、公式をチェックする。



★**自分に合った勉強計画は必ずある」が「全ての人に合った勉強計画はない」。**

テスト勉強計画づくりのポイントとは？

- ① 「計画はスモールステップ(小刻み)で」
- ② 「無理な計画は無意味」
自分に「できない」と思う計画ならば立てる意味がない。かといって「自分をナメた計画」もよろしくない。「頑張れば、ここまでは毎日やれる」という、自分だけの絶妙なバランスのとれた計画を作り出そう。
- ③ 「生活時間に優先順位をつける」
第1位「睡眠時間」(絶対、減らしてはいけない)
第2位「勉強時間」(絶対、増やさなければならない)
第3位「自由時間」(なんとかして、減らさなければならない)

「できるかできないか」ではなく、「やるかやらないか」

「もうこれまで」と思うのは自分、

「まだまだやれる」と思うのも自分